

平年値の更新(1981年～2010年の30年平均に変更)

2011年1月27日 天気相談所

1 新しい平年値の使用

平年値はある一定期間の観測値の平均をいい、平均的な気候の状態を表す指標及び現在の気象の状態を把握する指標として使用されています。平均をとる期間については、世界気象機関(WMO)が「西暦の1の位が1の年から数えて連続する30年間の平均値で、10年ごとに更新する」と定めています。これに基づき、日立市役所の観測値についても今年から1981年～2010年の平均値を平年値として使用します。

2 新旧平年値の差

主な観測要素について旧平年値と比較すると表-1のとおりで、以下のような特徴が認められます。

(1) 気温

平均気温についてみると、年平均気温は新平年値が14.1、旧平年値が14.0と相違は認められませんでした。これは、1980年代前半に気温が低かった影響があるためで(表-2と図-1参照)、次の平年値(1991年～2020年)ではこの影響がなくなり、平均気温が0.5程高くなる可能性があります。また、真夏日(日最高気温30以上)の日数は3日増えました。一方、冬日(日最低気温0未満)の日数はほとんど変わりません。ただし、日最低気温が-3未満の日数は減る傾向にあり、最近10年間の-3未満の日数は1961年～1970年の平均日数の1/4になっています(表-3参照)。

(2) 降水量

新、旧の平年値の間に特徴的な相違は認められません。

(3) 日照時間

年間の日照時間が2%少なくなっています。これは、1980年代後半から1990年代前半にかけて、日照時間が平均して約15%減った影響によります。

表-1 平年値の新旧差

項目	新平年値	旧平年値	差
年平均気温()	14.1	14.0	0.1
年間降水量(mm)	1444.6	1438.9	5.7
年間日照時間(時間)	1929.1	1965.4	-36.4
真夏日日数	22.8	19.8	3.0
冬日日数	42.9	43.4	-0.4
1mm以上降雨日数	107.3	107.6	-0.3

表-2 10年ごとの気温()の推移

年	平均気温
1961年～1970年	14.1
1971年～1980年	14.0
1981年～1990年	13.6
1991年～2000年	14.4
2001年～2010年	14.4

【参考】

図 - 1 年平均気温の推移(日立市役所: 1953年～2010年)

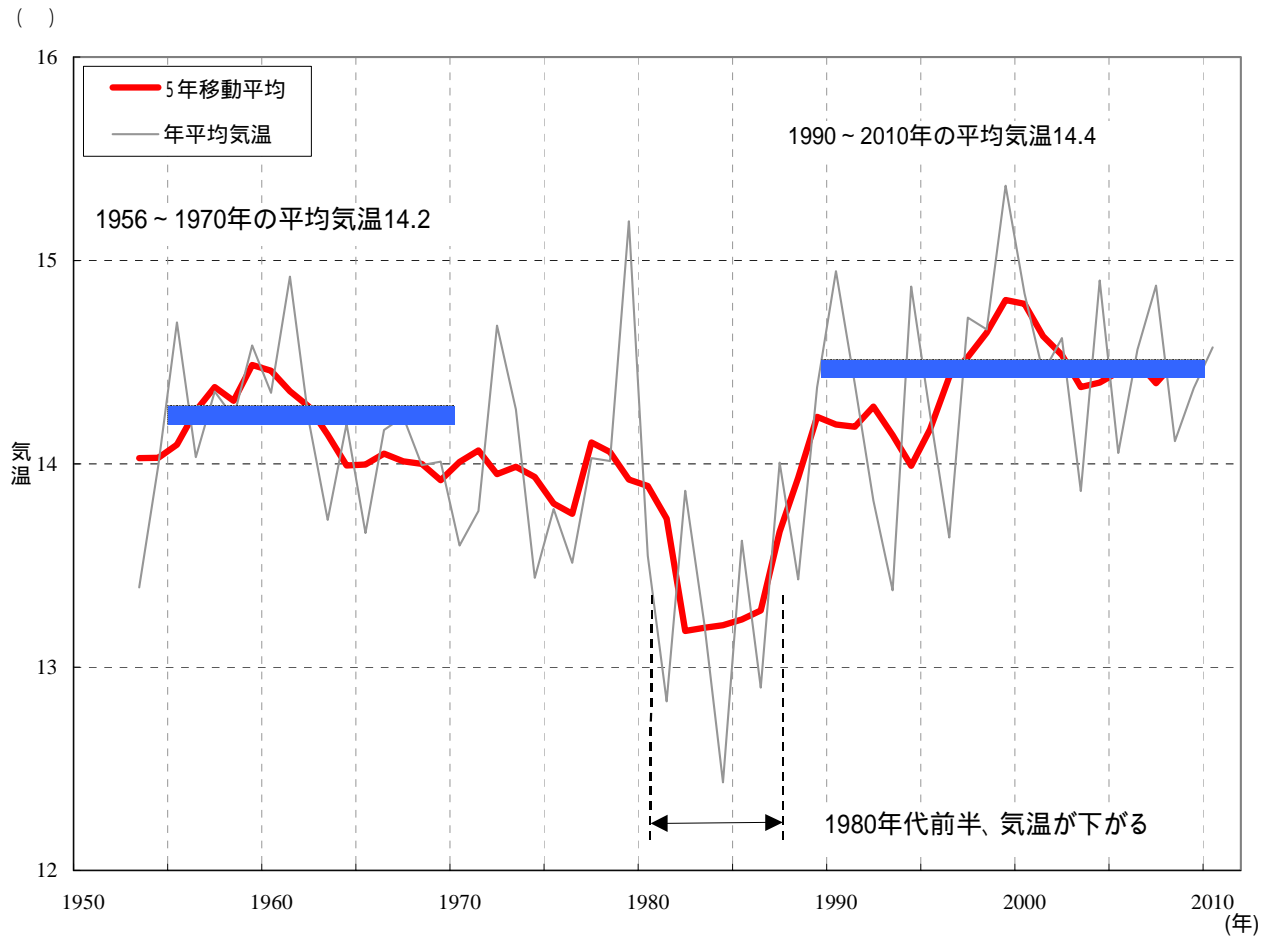


表 - 3 日最低気温が0 (冬日)及び-3 未満の日数(日立市役所: 1953年～2010年)

年	冬日の日数	日最低気温 -3 未満の日数
1953年～1960年	44.5	10.8
1961年～1970年	50.3	11.2
1971年～1980年	40.6	6.7
1981年～1990年	48.2	9.6
1991年～2000年	41.3	4.4
2001年～2010年	39.3	2.9